



ふるさとの自然 ————— 66

## コンバインを追い 掛けるアマサギ

### ○頭がだいたい色のサギ

市内には羽の色が白いシラサギの仲間が4種類すんでいます。体の大きさはダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギの順で、アマサギは最も小さなシラサギです。姿や形はどれもよく似ていますが、アマサギは繁殖期に頭や胸、背中の羽がだいたい色(亜<sup>あ</sup>麻<sup>ま</sup>色)になるのが特徴で、それが名前のもとにもなっています。もともとは南方系のサギで市内ではめったに見られない鳥でしたが、すむ場所を北に広げ市内でも繁殖するようになり、よく見掛けるようになりました。

### ○イナゴが好物

シラサギの仲間は水辺や田んぼでドジョウや魚、ザリガニなどを食べますが、アマサギは昆虫も好んで食べます。稲刈りのころ、田んぼでコンバインの後ろを追い掛けているサギの群れを見たことがあるでしょう。近づいてくるコンバインに驚いて飛び出すイナゴを狙っているのです。アフリカの草原では水牛などの大きな動物の背中に止まり、動物が歩くときに飛び出すバッタをちゃっかり食べています。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)